

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	タイムレコーダー上に掲示した職員心得を、出勤時と退出時に各自確認しているが、意識が薄れていないかをチェックするシステムは、特に設けていませんでした。	毎日自分一人で確認するだけでなく、毎朝の申し送り時に皆で唱和するなどして、各自の意識に、より浸透させることを目指します。	毎朝の唱和の他に、職員一人一人が目標を設定し、期間ごとに自己評価することにより、着実に日々のケアの向上に努めます。	6ヶ月
2	49	入所者様の介護度が上がり、敷地内の散歩など、戸外への外出頻度が少なくなっています。お花見や盆踊りなど大勢で出かける以外には、個々に対応できていません。	年間を通じての行事になっている外出以外に、少人数でのドライブや買い物など、もっと気軽に外出の機会を設けるようにします。	できそうなことから、とにかく試してみようと思います。候補となり得る案をたくさんあげて、一番簡単なことから実現していこうと思います。外出支援ノートを作り、その時の入所者様の様子なども記録できたらと考えます。	6ヶ月
3	10	面会に来られるご家族とはお顔を見て直接に、来られないご家族にも、利用者様の写真やお手紙などをお送りして、コミュニケーションに努めていますが、事業所便りについては、度々、案として上がりながらも、発行に至っておりません。	個々の対応だけでなく、共通の行事や取り組みなどを、すべてのご家族に知っていただくための努力をします。	とりあえず今年度4月に、さくら苑便り第1号を発行します。まずは簡単な紙面で良しとして、お便りの実現を目指します。発行の間隔も決めて、定期的に継続させたいと思います。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。